Panasonic®

取扱説明書

CDサウンドステーション

品 番 **CQ-C1303D**

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　MP3

ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 保証書は、お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

特　長

- 1DINにCD/MP3・FM/AMチューナー、高音質50 W×4 chパワーアンプを搭載
- CD-R/RWディスク対応 「CD-R/RWディスクのご使用について」をよくお読みください。
- MP3対応 「MP3ファイルについて」をよくお読みください。
- タイトル表示対応、タイトルスクロール機能を搭載 （半角英数字のみ対応）
- 音質効果が選べるサウンドクオリティー(SQ)機能を搭載
- 前面(フロントパネル)にAUX(外部音声入力端子)を装備

付属品・添付品の確認

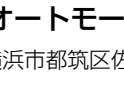
万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■付属品

座付きねじ

M5×8 mm (4)

皿ねじ



M5×8 mm (4)

電源コード

(1)

■添付品

取扱説明書 (本書)

(1)

保証書

(1)

仕　様

■共通

電源電圧	: DC12 V （11 V～16 V） ㊀アース
消費電流	: 8.5 A以下 (CD動作定格出力時)
定格出力	: 18 W × 4 CH (1 kHz、1 %、4 Ω)
最大出力	: 50 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4 Ω～8 Ω
音声入力インピーダンス	: 10 kΩ (AUX IN)
音声入力感度	: 200 mVrms (AUX IN)
最大入力レベル	: 2 Vrms (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 2.5 Vrms (CD)
プリアウト出力インピーダンス	: 200 Ω
トーン調整範囲	: バス　±12 dB/100 Hz トレブル ±12 dB/10 kHz
外形寸法	: 178 × 50 × 155 (㎜) (幅 × 高さ × 奥行き)
質　量	: 1.3 kg

■CDプレーヤー部

周波数特性	: 20 Hz～20 kHz
信号対雑音比（SN比）	: 96 dB (IHF、A)

■FMチューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz～89.9 MHz
実用感度 (SN比 30 dB)	: 10.2 dBf
SN比 (MONO)	: 62 dB
ステレオ分離度	: 35 dB
実効選択度 (±400 kHz)	: 90 dB

■AMチューナー部

受信周波数	: 522 kHz～1629 kHz
実用感度 (SN比 20 dB)	: 28 dB/μV

- 製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac、アップルは米国アップルコンピューター社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品 番	**CQ-C1303D**
販 売 店 名	☎ (　　) ―		

松下電器産業株式会社
パナソニック オートモーティブシステムズ社
〒224–8539　横浜市都筑区佐江戸町600番地

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

YFM284C504CA　PTW　FY0206-0
Printed in China

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください。

- エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

他の機器と接続する場合は…

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は…

- 携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・トラック・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

配線・取り付けに関するご注意

DC12V⊖アース車で使用する

❗ 本機はDC12V⊖アース車専用です。DC24 V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。
火災や故障の原因になります。

指定に従って配線･取り付けをする

❗ 説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーの⊖端子をはずす

❗ バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

取り付け・アース配線などに保安部品を絶対に使わない

🚫 禁止 車の保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。

分解・修理、および改造をしない

分解禁止 分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

❗ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

❗ 車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

🚫 禁止 あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告

ご使用に関するご注意

運転者は走行中に操作をしない また、表示を注視しない

🚫 禁止 走行中の操作や表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

機器内部に水や異物を入れない

🚫 禁止 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。
飲み物などがかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

🚫 禁止 万一、故障（表示が出ない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。
そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因になります。

MP3ファイル以外のファイルに、拡張子「MP3」を付けない

🚫 禁止 MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。
ファイル作成時には、拡張子にご注意ください。

大きな音量で使用しない

🚫 禁止 車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

❗ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。

⚠ 注意

配線・取り付けに関するご注意

配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者に依頼する

❗ 配線・取り付け/取りはずしには、専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

❗ 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

コードを破損しない

🚫 禁止 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

ご使用に関するご注意

車載用以外には使用しない

🚫 禁止 車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

ディスク挿入口に手や指を入れない

🚫 禁止 手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。
特に、乳幼児にご注意ください。

MP3ファイルについて

■ MP3とは?

MP3（MPEG Audio Layer 3の略）は、音声圧縮技術に関するフォーマットです。人間の耳に聞こえない音域や大きい音に埋もれて聞こえない音声を削り取る処理などにより、音質を保ったまま圧縮できます。もとのファイルを約1/10のサイズに圧縮できるので、1枚のディスクに音楽CD10枚分に相当する音楽ファイルを書き込めます。（「ビットレート128 kbps、サンプリング周波数44.1 kHz」でMP3ファイルに変換し、容量650 MBのCD-R/RWに書き込んだ場合）

■ 再生できるフォーマットは?

ISO9660レベル1/レベル2、Joliet/Romeo（拡張フォーマット）、ISO9660アップル拡張フォーマットに準拠しているCD-R/RWが再生できます。

- UDF、Apple HFS、Rock Ridgeフォーマットには、対応していません。

●ISO9660フォーマットとは？

ファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットです。（国際標準規格）
ISO9660フォーマットには、次のような文字数制限などがあります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

レベル	ファイル名	フォルダ名
レベル1	8.3形式 （半角英 大文字、半角数字、「_」で8文字以下＋拡張子）	最大半角8文字以下（拡張子不可）
レベル2	最大半角31文字（拡張子含む）	最大半角31文字

●拡張フォーマットとは？

Joliet/RomeoはWindows上で、ISO9660アップル拡張はMacintosh上で使うための、ファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットです。これらには、次のような文字数制限などがあります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

名　称	ファイル名/フォルダ名
Joliet	最大半角64文字、 8.3形式併用（拡張子含む）
Romeo	最大半角128文字 （拡張子含む）
ISO9660 アップル拡張	最大半角31文字 （拡張子含む）

■ MP3対応表

CD-ROM フォーマット	ISO9660レベル1/レベル2、Joliet/Romeo（拡張フォーマット）、ISO9660アップル拡張 ※ 規格に準拠していない場合、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。		
サンプリング周波数	● MPEG 1 Layer 3　：32 kHz、 44.1 kHz、48 kHz ● MPEG 2 Layer 3　：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz		
ビットレート	● MPEG 1 Layer 3　：32 kbps～320 kbps ● MPEG 2 Layer 3　：8 kbps～160 kbps ※可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。		
ファイル数	最大999　（フォルダあたり：最大255）	フォルダ数	最大255（ルートフォルダ含む）
フォルダ階層	最大8階層（ルートの階層を含む）	再生順序	階層順
ID3 Tag	Ver. 1.0/1.1/2.0（曲名・アーティスト名・アルバム名のみ）		
表示可能文字種	半角 英数字 ※ 全角文字や半角カタカナなど、正しく表示できない文字は、＊（アスタリスク）表示になります。		
表示可能文字数	最大半角32文字（Unicode文字の場合は16文字まで）　※ 拡張子は表示されません。		

お知らせ

- 本機にはエンコーダソフト、およびライティングソフトは付属されておりません。
- 再生時の音質は、変換時の条件などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（ミックスモードのCD、CD-Extra、CD-DA・MP3・WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。
  また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは再生できません。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。また、ディスクの書き込み状態が悪いと、音が途切れたり、雑音が発生する場合があります。
- MP3ファイルには、必ず拡張子「mp3(MP3)」を付けてください。他の拡張子を付けた場合や、拡張子を付けなかった場合は、ファイルを再生できません。
- 多くの階層や複雑な構成のディスクは、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。MP3以外のファイルや必要のないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。
- 書き込み時にライティングソフトがフォルダやファイルを並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。また、同じディスクでも、再生する機器によって再生順序が異なる場合があります。ファイル名の先頭に3ケタの数字「001」～「999」（または2ケタの数字）を入力することで、再生順序を設定できる場合もあります。
- M3Uプレイリストには対応していません。
- MP3 PROには対応していません。

■ 著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権利者の許諾を得ないでディスクに複製（録音）、配付、配信することは著作権法で禁止されています。

故障かな!?

● 太字の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

	症状	原因と処置
電源・共通	電源が入らない	● 車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可) ● **各コードの接続を確認してください。** ● **本機、または接続した機器のヒューズが切れている。** **→お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換をご依頼ください。**
	音が出ない	● 音量を上げてください。 ● ミュートが「ON」になっている。→「OFF」にしてください。 ● 結露している。→しばらく放置してからご使用ください。 ● **各コードの接続を確認してください。**
	雑音が出る	● 携帯電話などを本機から離してください。 ● **アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されているか確認してください。**
ラジオ	ノイズが多い	● ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。 ● **アンテナアンプコントロールコードの接続を確認してください。** ● 放送局の電波が弱い。→放送局を変えてください。 ● **ラジオアンテナの基台部分がしっかりと車体に取り付けられているか(アース接続)を確認してください。**
CD	ディスクを入れても音が出ない または自動的に排出される(再生できない)	● ディスクを正しい面で入れなおしてください。 ● CD-R/RWの場合は、使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく再生されない場合があります。 ● ミックスモードのディスクの、音楽データ以外のトラック(パソコン用のデータなど)を再生しようとした。→音楽データを再生してください。 ● 音楽用の(録音されている)ディスクをご使用ください。 ● 拡張子が正しくない。 MP3 →正しい拡張子 [mp3(MP3)] を付けてください。
	音質が悪い(音がとぶ)	● ディスクの汚れをクリーニングしてください。 ● **本機の取り付けを確認してください。** **→角度を30°以下に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。** ● CD-R/RWの場合は、低倍速で、再度データを書き込んでください。 ● 音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくはエンコーダソフトの説明書をご覧ください。 MP3
	CDテキストが正しく表示されない 音楽CD	● ディスクの汚れをクリーニングしてください。 ● 本機は、数字とアルファベット以外のテキストには対応していません。
	ファイル名/フォルダ名、ID3 Tagが正しく表示されない MP3	● 規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 ● 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく再生されない場合があります。
CD	再生経過時間の表示が実際と一致していない MP3	● 車のイグニッションスイッチを「OFF」にした。 →他のファイルを再生すると、正常に戻ります。 ● 可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。

	症状	原因と処置
CD	再生するまで時間がかかる MP3	● ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 →ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。 MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。
	順番どおりに再生されない MP3	● 再生させたい順番どおりに、書き込まれていない。 →故障ではありません。ファイル名の頭に「001」～「999」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。
音質調整	左右前後のいずれかの音が出ない	● 左右前後のバランスを調整してください。 ● **各コードの接続を確認してください。**
	外部アンプから音が出ない	● フェダーの音量バランスを確認してください。 ● **各コードの接続を確認してください。**
	ステレオのとき、左右の音が逆になる	● **スピーカーコードの接続(左右)を確認してください。**
	音が中央に集まらない(低音が出ない)	● **スピーカーコードの接続(⊕⊖)を確認してください。(逆相接続)**

こんな表示が出たときは

E1	自動的にディスクが排出されます。 ● ディスクが汚れている、キズが付いている、裏返しになっている。
E2	● 再生できないディスク(音楽用ではない、録音されていないなど)を使用している。 →ディスクを確認してください。
E3 (EJECT点滅)	● 何らかの動作エラー(メカエラー)が起きた。 →イジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC(車のアクセサリ電源)を入れなおしてください。 **※それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に修理をご依頼ください。**
E4	自動的に次のファイルに切り替わります。 ● 再生しようとしたが、何らかの原因で読み込めない。 (本機が対応していないフォーマット、圧縮方式、データ形式などで記録されている、またはデータが破損しているなど) →ファイルの形式を確認し、本機に対応した形式に作りなおしてください。
NO DISC	● 本機にディスクが入っていない。→ ディスクを入れてください。

こんなときは故障ではありません

結露について

● 雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部(CDプレーヤー)の光学系のレンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置し、自然に露がとれるのをお待ちください。

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。
安全を確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に修理をご依頼ください。
お客様による修理は、絶対におやめください。

保証とアフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申しつけください。

転居や移動先などでお困りの場合は…

- 修理は、お近くの「サービス相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

お客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル **0120-50-8729**（ゴー パナソニック）
■ 一般電話（携帯電話・PHSなど） **045-929-1265**
FAX **045-938-1573**

受付 9:00～17:00（土·日·祝日·弊社休日を除く）
※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

修理を依頼されるとき

「故障かな!?」の項目に従ってご確認のあと、なおらないときは、まず電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。

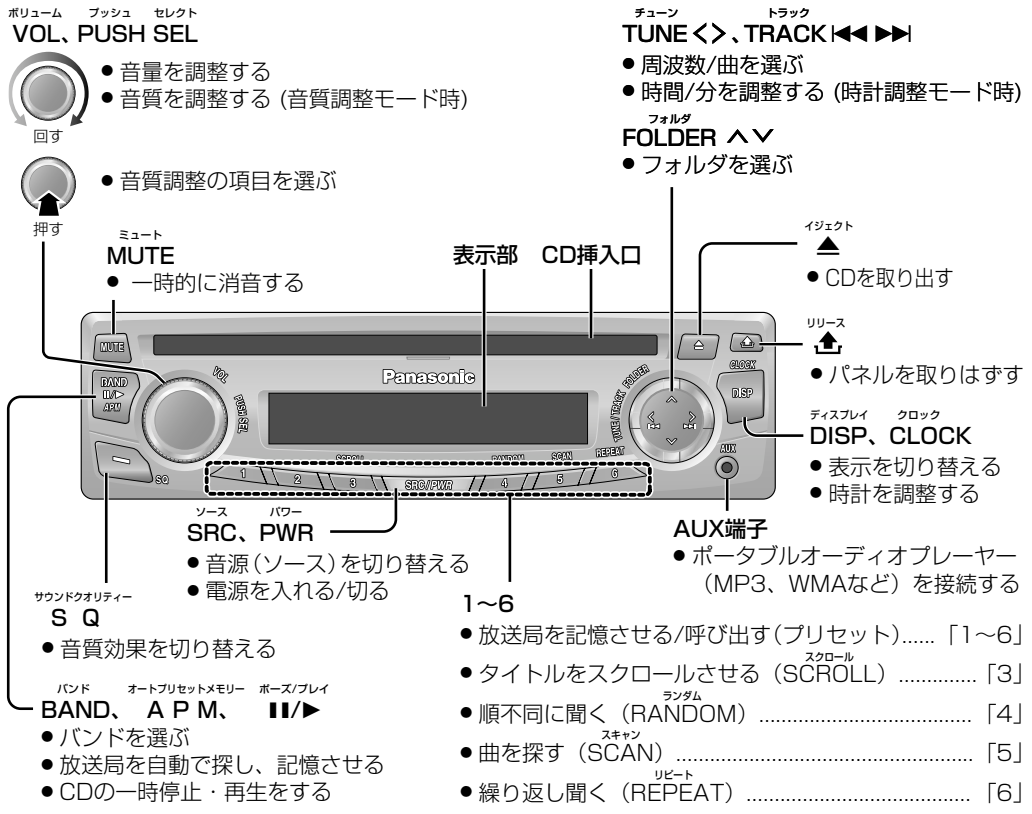
- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品 名	CDサウンドステーション
品 番	**CQ-C1303D**
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を依託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供いたしません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

各部のなまえとはたらき



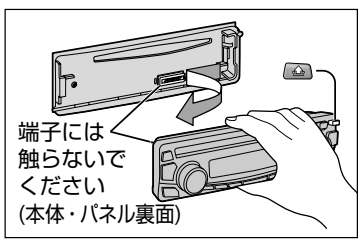
パネルの脱着

車から離れるときにパネルを取りはずせるので、盗難防止の用途に使用できます。(デタッチャブルフェイス)

■ 取りはずしかた

❶ 本機の電源を切る

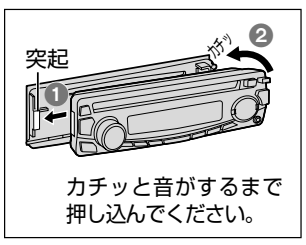
❷ (リリース)を押して、取りはずす



■ 取り付けかた

❶ 左端を突起部に差し込む

❷ 右側をはめ込む



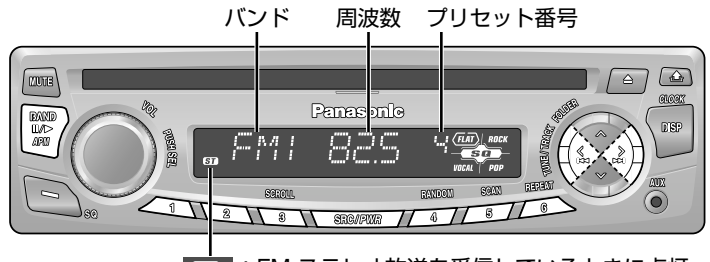
■ 取りはずしたパネルは

- 破損や汚れを防ぐために、乾いた柔らかい布で包むなどして保管してください。
- 衝撃を与える、落とすなどしないでください。
- 気温が上がるダッシュボードやその周辺に、置かないでください。
- 故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。(パネルは防水されていません。)

お願い ● 本体とパネル裏面の接点(端子)には触らないでください。電気的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

ラジオを聞く

● AMステレオには対応していません。



ST：FM ステレオ放送を受信しているときに点灯

❶ SRC/PWR を押して、ラジオモードにする

❷ BAND を押して、バンドを選ぶ

FM1→FM2→AM1→AM2

❸ ◀◀ または ▶▶ を押して、周波数を選ぶ

自動選局(シーク)したいときは…

0.5秒以上押してはなす

● 放送局を受信すると、止まります。

放送局を記憶させる

バンド(FM1、FM2、AM1、AM2)ごとに、放送局を6局ずつ記憶させることができます。

放送局を一つずつ記憶させる (プリセットメモリー)

❶ バンドと周波数を選ぶ(☞上記)

❷ 1 〜 6 を
表示が一回点滅するまで押す

● 受信している放送局が、選んだボタンに上書きされ、記憶されます。

プリセット番号4に記憶させた場合

表示が1回点滅

放送局を自動で探し、記憶させる (オートプリセットメモリー)

❶ バンドを選ぶ(☞上記)

❷ BAND を2秒以上押す

● 受信状態のよい放送局が、プリセット番号1から順に上書きされ、最大6局まで記憶されます。

終了すると

● 記憶された放送局が約5秒ずつスキャンされます。

スキャンを止めるには

1 〜 6 を押して放送局を選んでください。

記憶された放送局を呼び出す(プリセット呼び出し)

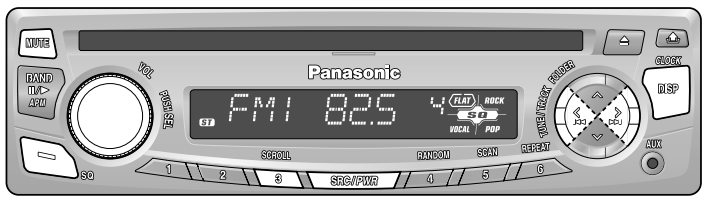
❶ バンドを選ぶ(☞上記)

❷ 1 〜 6 を押す

● 記憶されている放送局を受信します。

準備・基本操作

準 備 車のエンジンをかける (ACC ONでも可)



電源を入れる/切る

SRC/PWR　ON (入)： 押す
OFF (切)： 1秒以上押す

お知らせ

● 電源が切れているときにディスクを入れると電源が入り、再生が始まります。

音源 (ソース) を切り替える

電源が入っているときに SRC/PWR を押す

● 押すごとに切り替わります。

音量を調整する

回す

小　大

初期設定：18
調整範囲：0〜40

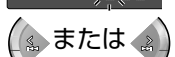
時計を調整する

❶ DISP を押して、時計表示に切り替える

時計が未調整のときは、
「ADJUST」と表示されます。

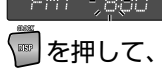
❷ DISP を2秒以上押し、

◀◀ または ▶▶ で時間を調整する



❸ DISP を押して、

◀◀ または ▶▶ で分を調整する



❹ DISP を押して、決定する

● 時計調整モードが解除され、時計が動き始めます。

お知らせ

● 時計は24時間表示です。
● 電源が入っていないときは調整できません。

一時的に消音する (ミュート)

MUTE を押す

● 再度押すと、解除されます。

表示を切り替える

DISP を押す

● 押すごとに切り替わります。

例) ラジオモードのとき

例) 音楽CDモードのとき

※1 タイトル(テキスト情報)がない場合は、「NO TEXT」と表示されます。

例) MP3モードのとき

※2 ルートフォルダ再生中は、「ROOT」と表示されます。
※3 タグ表示設定がONのとき、表示されます。
情報がない場合は、「NO TEXT」と表示されます。

電源が切れているときも、DISP を押すと時計を表示させることができます。

時計OFF ↔ 時計ON (18:05)

タイトル表示について

- タイトル情報は、半角英数字で表示されます。
- スクロール時で、最大32文字表示できます。
- 表示できない文字は、「*」で表示されます。
- ID3 Tagについては、「MP3ファイルについて」(表面)をご覧ください。

CDテキスト※(CDに記録されているタイトル情報)を表示させることができます。
※ 左のマークがついたディスクなど

タイトルをスクロールさせる

タイトル表示中に SCROLL 3 を押す

● タイトルが1周スクロールします。

ID3 Tagを表示する/しないを選ぶ (タグ表示設定) MP3

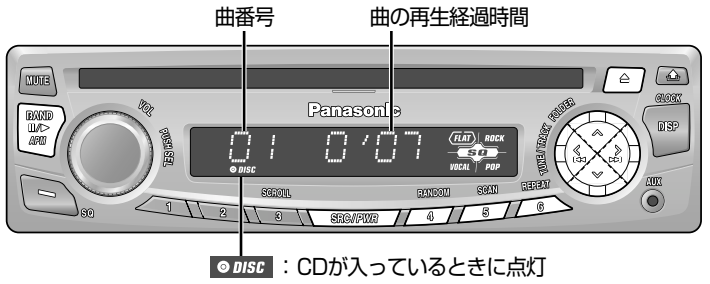
MP3モード時に
SCROLL 3 を2秒以上押す

● 2秒以上押すごとに切り替わります。

表示しない(初期設定) TAG OFF ↕ TAG ON 表示する

ディスクを再生する(音楽CD/MP3)

● WMAには対応していません。



CDが入っているときに

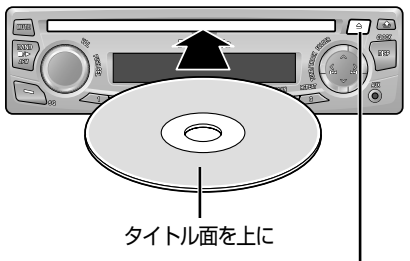
SRC/PWR を押して、CDモードにする

CDを入れる/取り出す

CDを入れる前に、DISC が点灯していないことを確認してください。
シングルアダプターは使用しないでください。
(8 cm CDは、アダプターなしで再生できます。)

CDを入れる

● 再生が始まります。



CDを取り出すには

⏏ を押す

● CDが出てくる動作が完全に止まってから取り出してください。

一時停止する（ポーズ）

BAND/⊓/APM を押す　　PAUSE

● 再度押すと、解除されます。

曲を選ぶ

音楽CD

◀◀ または ▶▶ を押す

フォルダを選び

MP3

❶ ▲ または ▼ を押す

フォルダを選び

❷ ◀◀ または ▶▶ を押す

ファイルを選ぶ

早戻し/早送りする

◀◀ または ▶▶ を0.5秒以上押し続ける

● 押し続けている間、早戻し/早送りされます。

順不同に聞く（ランダム）

すべての曲/ファイル

RANDOM 4 を押す　　R▶ 点灯　06 0'53

● すべての曲/ファイルを順不同に再生します。
● 再度押すと、解除されます。

再生中のフォルダ

MP3

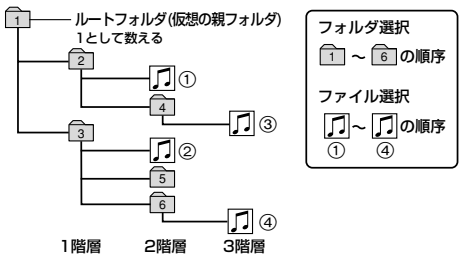
RANDOM 4 を2秒以上押す　　FOLDER 点灯　003-006

● 再生中のフォルダ内のファイルを順不同に再生します。
● 再度2秒以上押すと、解除されます。

お知らせ

● CDのデータを識別するまでに時間がかかる場合があります。
● 本機では、フォルダの中にMP3ファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
● ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
● 再生の順序は、同一のCDでも、使用する機器（プレーヤー）によって異なる場合があります。
● CD-R/RWは、使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。

階層と再生順序のイメージ（例）



曲/ファイル/フォルダを探す（スキャン）

すべての曲/ファイル

SCAN 5 を押す　　01 0'07　再生中の曲/ファイル番号が点滅

● すべての曲/ファイルを約10秒ずつ再生します。
● 再度押すと、解除されます。
● 1周すると解除され、もとの曲/ファイルの先頭に戻ります。

各フォルダの先頭ファイル

MP3

SCAN 5 を2秒以上押す　　FOLDER 点灯　002-001　フォルダ番号が点滅

● 各フォルダの先頭ファイルを約10秒ずつ再生します。
● 再度2秒以上押すと、解除されます。
● 1周すると解除され、もとのフォルダの先頭ファイルに戻ります。

繰り返し聞く（リピート）

再生中の曲/ファイル

REPEAT 6 を押す　　REP 点灯　01 0'07

● 再生中の曲/ファイルを繰り返し再生します。
● 再度押すと、解除されます。

再生中のフォルダ

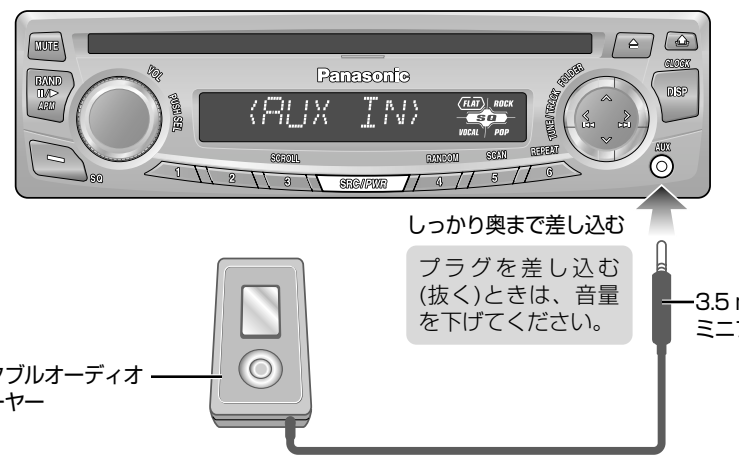
MP3

REPEAT 6 を2秒以上押す　　FOLDER REP 点灯　002-001

● 再生中のフォルダ内のファイルを繰り返し再生します。
● 再度2秒以上押すと、解除されます。

他の機器の音声を聞く (AUX)

準 備 前面(フロントパネル)のAUX(外部音声入力端子)に、お手持ちのポータブルオーディオプレーヤー（MP3、WMAなど）を接続してください。



SRC/PWR を押して、AUXモードにする

● 本機の外部音声入力端子に接続した機器の音声が、本機に接続したスピーカーから出力されます。
● 操作のしかたは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

お願い

● 接続する前にポータブルオーディオプレーヤーの音量を下げてから接続し、適切な音量に調整してください。
● 3.5 mmステレオミニプラグで接続してください。

音質を調整する

❶ 押して 項目を選ぶ　❷ 回して 調整する

音質調整モードを終了するには DISP を押す

お知らせ

● 約5秒間 (ボリュームは約2秒間) 何も操作しないと、音質調整モードが解除されます。
● プリアウト端子に接続した外部アンプの音量レベルは、フェダー (REAR) に連動します。

通常表示（例：CD）

			初期設定	調整範囲
音量を調整する（ボリューム）	VOL 18	VOL 20	18	0～40
低音域のレベルを調整する（バス）	BASS	BAS+ 6dB	0 (dB)	−12～+12 (dB) (2 dBごと)
高音域のレベルを調整する（トレブル）	TREBLE	TRE- 6dB	0 (dB)	−12～+12 (dB) (2 dBごと)
左右のスピーカーの音量バランスを調整する（バランス）	BALANCE	BAL L15	CNT (センター)	L(LEFT)/R(RIGHT) 各1～15 ステップ
前後のスピーカーの音量バランスを調整する（フェダー）	FADER	FAD F15	CNT (センター)	F(FRONT)/R(REAR) 各1～15 ステップ

右方向：レベルが上がる
左方向：レベルが下がる

右方向：右側が強調される
左方向：左側が強調される

右方向：前方が強調される
左方向：後方が強調される

音質効果を楽しむ (SQ：サウンドクオリティー)

音楽の種類などに応じて、お好みの音質効果を4種類から選んで楽しめます。
(初期設定：FLAT)

FLAT / ROCK / SQ / VOCAL / POP

8 を押して切り替える

● 押すごとに切り替わります。

FLAT　通常の音質（効果なし）
↓
ROCK　低音域と高音域を大きく強調。ロック音楽などに向いています。
↓
POP　低音域と高音域をわずかに強調。ポップスなどに向いています。
↓
VOCAL　中音域を強調し、高音域をわずかに強調。人の声などが聞きとりやすい、クリアな音です。

お知らせ

● 音量/バス/トレブルの設定によっては、SQを選んだときに音が歪むことがあります。そのときは音量/バス/トレブルのレベルを下げて、再調整してください。

ディスクの取り扱い

CD(コンパクトディスク)

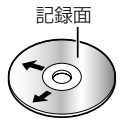
COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが付いているものをご使用ください。

持ちかた

記録面に手を触れないように持ってください。

CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA、MP3以外のデータ(ビデオCDなど)は、再生できません。

- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

CDの保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気にふれるところ
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状のCD規格に合致しないディスクであり、本機で再生できない場合があります。
通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

下記のようなディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

■ 円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形　三角形　カード型

■ ラベルなどを貼り付けたディスク

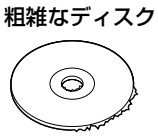
シールやテープ、のりが付着している　プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート　ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

■ 破損・変形したディスク

そっている　ひびやキズがある 欠けている

■ 粗雑なディスク



バリがある

取り付け・配線の前に

■ 作業の順序

1. バッテリーの⊖端子をはずす。
2. 配線する。
   - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
   - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
3. 取り付ける。
4. バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

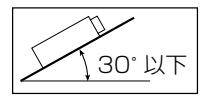
配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

■ 取り付け部の寸法・角度の確認

- センターコンソールの形状や寸法によって、取り付けられない場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- オーディオスペースがDINサイズまたは2DINサイズでない場合は、販売店にご相談ください。

DINサイズ	(縦50 ㎜×横180 ㎜)
2DINサイズ	(縦100 ㎜×横180 ㎜)

- 水平に対して、30˚ 以下の角度で取り付けてください。



お願い

- エアバックや盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーをはずすと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。

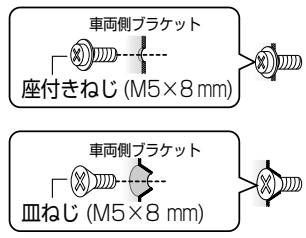
取り付けかた

- 年式、車種、グレードにより、別売の専用キットが必要な場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

お願い

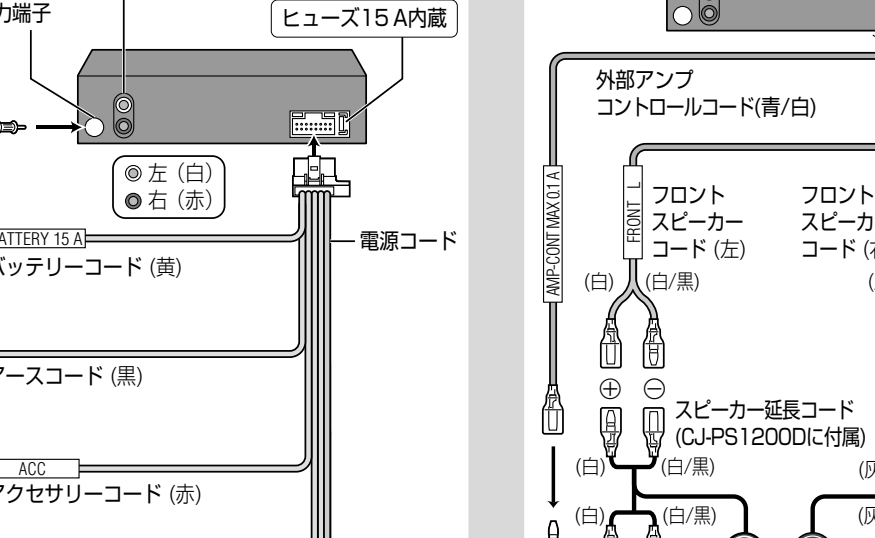
- 故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。

- 付属のねじは、車両側取り付け金具 (車両側ブラケット)の穴形状に合わせて選んでください。



使用する取り付け金具 (ブラケット) は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

取 付 例



インダッシュテレビと組み合わせる場合には、本機を下段に取り付けてください。

●トヨタ車 (DINサイズ採用車)
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。

●日産・本田・マツダ車 (DINサイズ採用車)
別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。

●上記メーカー以外の車
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

配線のしかた

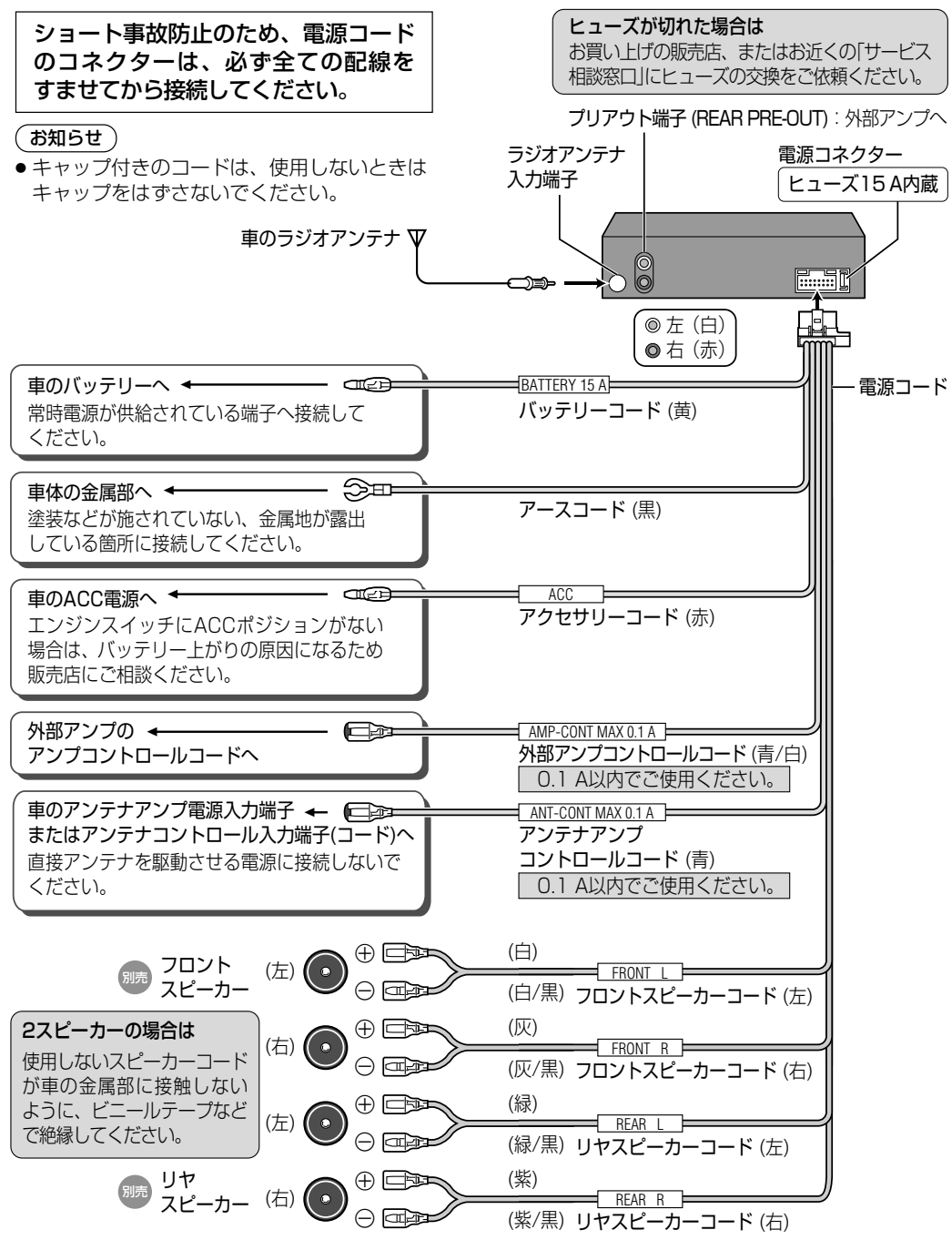
- 別売の中継コードを使用すると、車両側と配線しやすくなります。詳しくは、販売店にご相談ください。

ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

お知らせ

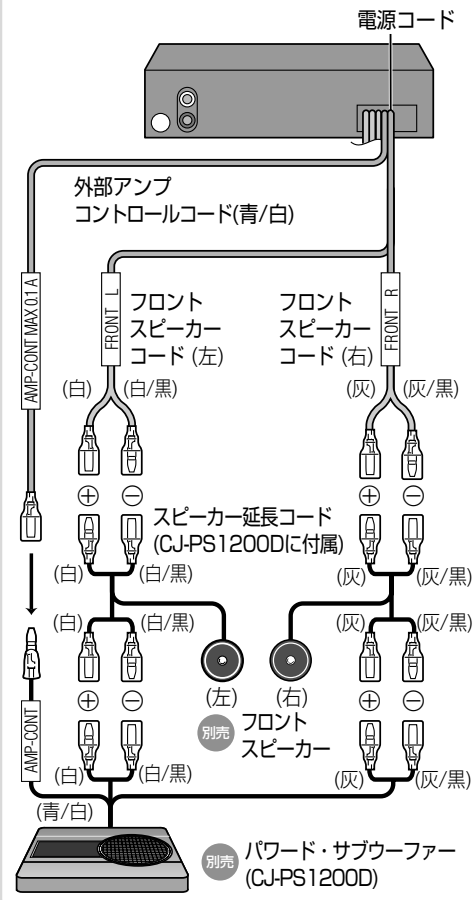
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップをはずさないでください。

ヒューズが切れた場合は
お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換をご依頼ください。



サブウーファーを接続する（例）

接続する機器の説明書も併せてお読みください。



お手入れのしかた

パネルが汚れたときは

- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。

使用しない

- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。